

工事名					令和5年度 ファインビュー室山 屋根塗装工事										
工事場所					安曇野市 ファインビュー室山										
					金抜設計書										
工事概要										施 工 方 法			請 負		
<div>■ 令和5年度 ファインビュー室山 屋根塗装工事</div> <div>・ファインビュー室山屋根計666㎡の塗装工事一式</div> <div>・トップライト部、下足室屋上のシーリング改修工事一式</div> <div>・露天風呂オーニング工事一式</div> <div>・下足室壁塗装工事一式</div>										施 工 期 間			契約日から 令和5年12月21日		
										担 当 課			観光課 観光施設担当		
										工事担当課			財産管理課 施設経営担当		

総括表

工事設計書

	名 称	数 量	単位	金 額	摘 要
A	直接工事費	1	式		
B	共通仮設費	1	式		
	純工事費				
C	現場管理費	1	式		
	工事原価				
D	一般管理費	1	式		
	工事費 計				
E	消費税	1	式		
	合 計				

工事設計書

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
	直接工事費						
1	仮設工事		1	式			
2	塗装工事		1	式			
3	シーリング工事		1	式			
4	露天風呂オーニング工事		1	式			
5	下足室壁塗装工事		1	式			
	小 計						

工事設計書

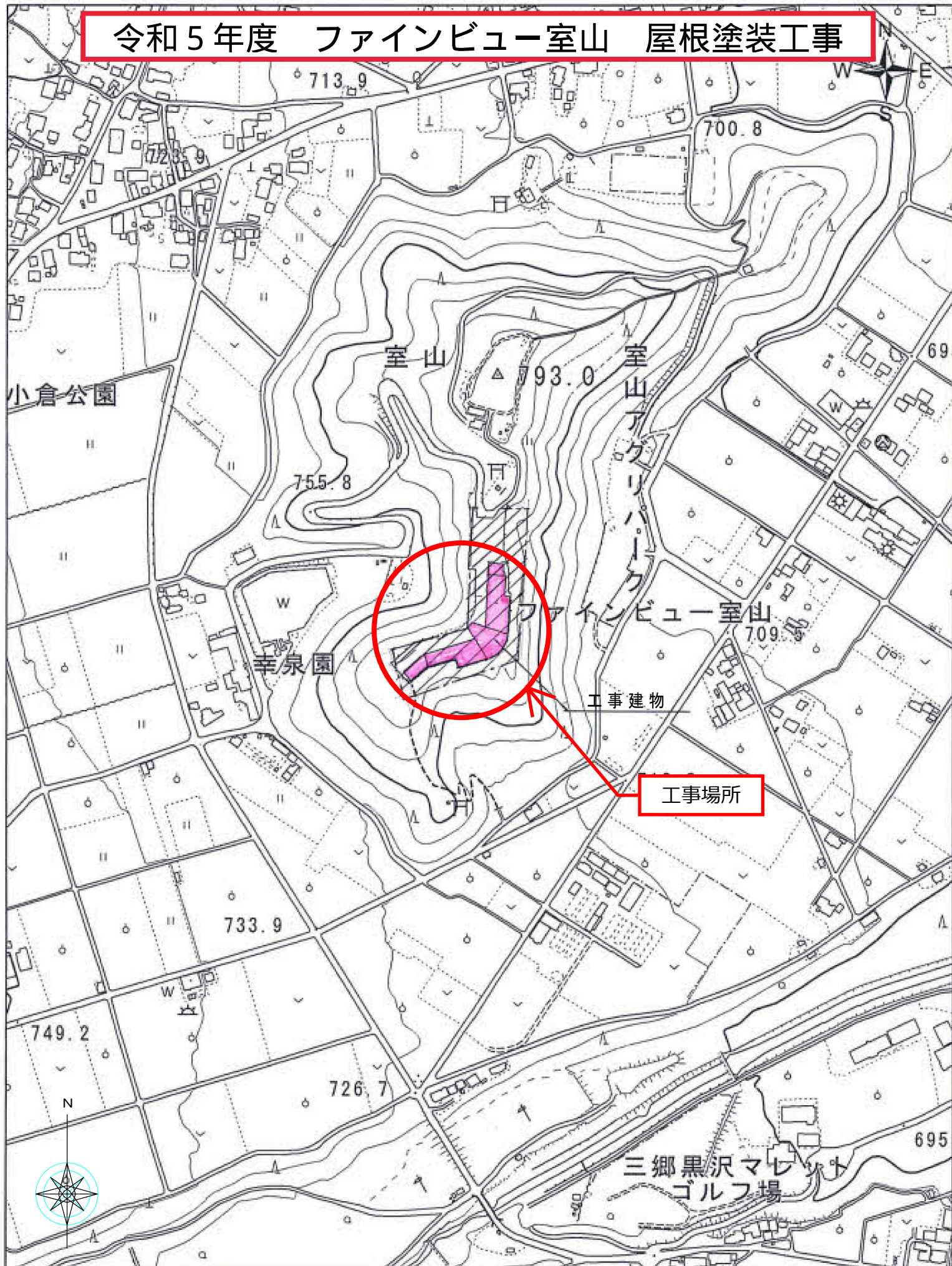
	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
1	仮設工事						
	外部足場 3ヶ月	くさび緊結式 W=600	782.0	m2			
		手すり先行型					
	同上 高層補強割増	補強控え柱共	460	m2			
	仮設階段	1基	6	段			
	2間トラス		1	式			
	安全手すり		91.0	m			
	足場シート養生	防煙シート 存置3ヶ月	152.0	m2			
		上部横張り H1.8m					
	小運搬費		1	式			
	小 計						
2	塗装工事						
	下地調整 RB種	ケレン・サンダー掛け	666	m2			
		既存塗膜不良箇所					
	高圧水洗浄	全面	666	m2			
	プライマー塗 + 対候性塗料 DP 2回塗	2液形エポキシ系プライマー	666	m2			
		DP: フッ素樹脂塗装					
	小 計						

工事設計書

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
3	シーリング 工事						
	既存シーリング 改修工事	トップライト周り	1	式			
		下足室屋上雨水ドレイン部					
	小 計						
4	露天風呂オーニング工事						
	外付けロールスクリーン W1.8*H3.0 手動式	(参) ニチベイ ソカ ポリエステル生地 UV加工	2	組			
	同上付属金物	ホルト、アンカーセット	2	組			
	取付調整費	養生費、清掃費共	1	式			
	スクリーンボトム固定木枠	檜1等材105角 L4.000 3本 105*105/2 L4000 1本 KD材 ミカキ	0.16	m3			
	同上金物		1	式			
	現場施工費	木枠設置、金物取付、木部塗装共	1	式			
	小 計						
5	下足室壁塗装工事						
	養生費	仕上養生	9.0	m2			
	脚立足場	直列	14.0	m			
	下地調整 RB種	既存珪藻土刈	9.0	m2			
	E P 刈 C種		9.0	m2			
	小 計						

位置図

令和5年度 ファインビュー室山 屋根塗装工事



現 場 説 明 書

安曇野市 総務部 財産管理課 施設経営担当

- 1 工事名称 令和5年度 ファインビュー室山 屋根塗装工事
- 2 工事場所 安曇野市 ファインビュー室山
- 3 工事概要 ファインビュー室山屋根計 666 m²の塗装工事一式
※塗装箇所については別添図面参照
トップライト部、下足室屋上のシーリング改修工事一式
露天風呂オーニング工事一式
下足室壁塗装工事一式
- 4 工期等 契約工期 契約日 ～ 令和5年 12 月 21 日

5 一般事項について

(1) 現場説明会

本件の内容は、現場、入札心得、入札公告、特記仕様書、設計図書、安曇野市建築工事の手引等関連する仕様書類、長野県建設工事標準請負契約約款に基づき市が定める契約書（案）及び現場説明書（以下「設計図書等」という。）によるものとし、現場説明会は実施しない。

(2) 設計図書等に対する質問及び回答について

設計図書等に関する問い合わせは、「入札公告」記載のとおりとし、入札執行が完了するまでの間、本件に関しての面談又は電話（ただし、指定の問い合わせ先は除く。）等は一切認めない。

(3) 工事費内訳書の提出

入札時の工事費内訳書提出については「入札公告」による。

6 本工事における特記事項

- ア 施設を運営しながらの施工となるため来館者等に支障がないように安全管理に努めること。
- イ 施工に係る支障事項は事前に施設管理者へ報告を行い、作業内容等十分な配慮を行うこと。
- ウ 工事監理者・監督員および施設管理者と十分に協議を行い、施工期間及び作業時間、作業範囲を調整し施工すること。
- エ 必要により、夜間等での施工を実施する場合は、工事監理者・監督員および施設管理者の承諾を得たのちに、施工を実施すること。
- オ 施設運営への配慮事項
 - ① 打合せの上、騒音等に配慮し施設運営に支障がないよう努めること。

- ② 施設職員の移動動線には十分注意すること。搬入路、仮設足場等は事前に、監理者・監督員および施設管理者の承諾を得たのちに施工すること。

カ 足場設置日について

令和5年9月21日の施設休業日を中心に足場の設置を行うこと。

また、この日以外は午前10時から午後5時の間に工事を行うこと。

工事完了後は施設管理者・監督員と工程を協議し、早急に足場を撤去すること。

キ 工事用地等

本工事に必要な用地は、以下のとおり。

使用目的	使用場所・面積
資材置場	敷地内
駐車場	同上敷地
現場事務所	同上敷地

ク 排水への対応

本工事施工に伴う排水は、沈殿処理・Ph 管理等の各法令を守り、自然環境等へ悪影響を及ぼす事のないよう適正に処理し、特に指示のある場合を除き近傍の公共用水域又は排水路等に排水する。また、排水路等は、常に適切な維持管理を行い、従前の機能を損なわないようにすること。ただし、周辺水路についての排水は、管理者と協議のうえ、同意を得る事。

~~7 本工事に関連する別途発注工事の予定~~

発注機関	工事名	工期	工事内容	備考

~~・本工事に近接・競合する工事の予定~~

発注機関				

~~・改修工事における工事個所の順番は図のとおり。~~

~~・この工事は執務並行型の工事である。~~

8 安全対策関係

~~ア 交通誘導警備員~~

~~受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受託者は警備業法第4条の規定により公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。~~

イ 安全施設

発注者が想定している仮設（ゲート、仮囲い等）については、仮設計画図に示したとおり。受注者は明示された条件に基づき、自主的に工法を選定し、構造設計等必要な検討を行い施工するものとする。（任意仮設）

なお、明示した条件と現場が一致しない場合や明示されていない条件について予期することができない特別な状態が生じた場合において、必要と認められるときには設計変更の対象とする。

9 工事用道路関係

現場への工事関係車両の入退場の路線は事前に監理者・監督員および施設管理者と協議をすること。

10 その他

ア 火災保険等への加入について

火災保険等加入期間については、請負契約後から契約工期末日後 14 日までとする。

イ 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

請負者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、下記の「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。

特記仕様書（共通事項）

安曇野市 総務部 財産管理課 施設経営担当

1. 保険等

建物（施設）引渡しまで工事受注者は、現場説明事項・施工条件明示事項に定める保険に加入しなければならない。加入期間は原則として工事着手日とし、その終期は工事しゅん工後14日以降とする。

2. 各種調査等に対する協力について

本工事について、発注者が自ら又は、発注者が指定する第三者が行う下記調査等に対して、協力しなければならない。

(1) 公共事業労務費調査等

(2) 資材調査、建設副産物実態調査等

3. 工事検査

施工途中において総務部契約検査課職員または、発注機関の長の指定する職員による打ち検査を実施することがあるので、検査に協力すること。

4. 被害届等

暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

5. 工事实績情報サービス（CORINS）の登録について

(1) 請負金額が500万円以上（税込）の工事については、工事实績情報サービス（CORINS）の登録をすること。

(2) 登録する場合は、「登録のために確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受け、次に示す期間内に（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）に登録の手続きを行うこと。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、速やかに監督員に提示すること。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

① 工事受注時契約締結後10日以内

② 登録内容の変更時変更契約締結後10日以内

③ 工事完成時工事完成後10日以内

(3) 技術者の従事期間は、実工期をもって登録するものとする。（休工期間を含まないことに留意するものとする。）

6. 施工体制台帳に係る書類について

(1) 工事受注者は、請負契約した全ての下請業者について、建設業法に定める「施工体制台帳」とそれに係る書類及び「施工体系図」を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、その写しを監督員に提出すること。

(2) 「施工体系図」は工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。

(3) 次の業種についても請負契約に該当するため、(1)と同様とする。

・ 1日で完了する請負契約、少額な作業・雑工の請負契約

- ・クレーン作業、コンクリートポンプ打設等の日々の単価契約で行っている場合
- ・クレーン等の業種オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合

7. 主任技術者及び監理技術者の専任について

主任技術者又は監理技術者（以下「監理技術者等」という。）が専任を求められる工事である場合、監理技術者等を専任で設置すべき期間は契約工期が基本となるが、次の期間については、専任を要しない。なお、具体的な期間については、監督員との打合せにおいて定めることとする。

- ① 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入、または仮設工事等が開始されるまでの期間）
- ② 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
- ③ エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
- ④ 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間

8. 産業廃棄物等の取扱い

- (1) 廃棄物の処理に当たっては、受注者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）するときには、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、適正に行うこと。
- (2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許すことができる者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。
- (3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積み込み状況の写真、処分状況の写真を添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出するとともに、マニフェストA票、B2票、D票並びにE票の原本（廃棄物の種類ごとに1セット）を提示すること。

9. 再生資源利用促進計画書等

「資源の有効な利用の促進に関する法律」（ラージリサイクル法）に基づき、受注者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を作成すること。また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を作成し、監督員に提出すること。

対象工事：ラージリサイクル法に規定する一定規模以上の工事

作成方法：COBRIS（建設副産物情報交換システム※）を利用すること。

※（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）が提供する建設副産物の情報交換サービス

10. 安全対策関係

- (1) 工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。
- (2) 安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回以上実施し、この結果は工事日誌へ記録するほか工事写真等も整理のうえ提出すること。なお、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。
- (3) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省

基発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

11. 環境対策関係

- (1)現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。
- (2)夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートを選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。
- (3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。
- (4)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

12. 過積載の禁止

- (1)工事の施工計画にあたって、施工計画書に次の事項を具体的に記載するとともに、施工時においても遵守すること。
 - ①積載重量制限を超過しての建設発生土の処理及び資機材（以下「資機材等」という。）の積載重量の厳重チェックを行うこと。
 - ②過積載を行っている資材等納入業者からの資機材等購入は行わないこと。
 - ③過積載を防止するため、資機材等の購入にあたっては、納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
 - ④資機材等の運搬には、さし枠装着車、物品積載装置等の不正改造した車輛及び不表示車等を使用しないこと。また、同車輛からの資機材等の引き渡しを受けないこと。
 - ⑤下請業者や資機材等納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けた者または車輛を使用した業務等において悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。
 - ⑥飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。
 - ⑦土砂等の運搬に関する事業者の選定に当たっては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条の規定に基づき届け出た団体構成員の雇用に努めること。
- (2)以上の点について、下請業者についてもこれに準じ徹底すること。

~~13. セメント及びセメント系固化材を使用した改良土について~~

- ~~(1)セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良及び改良土を再利用する場合は、六価クロム溶出試験を行い、その結果について監督員に報告する。~~
- ~~(2)セメント及びセメント系固化材とは、セメントを含有成分とする固化材で、普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固化材、石灰系固化材をいい、これに添加物を加えたものを含める。~~
- ~~(3)六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」（以下「実施要領（案）」という。）により実施し、土壤環境基準を超えないことを確認する。~~

~~14. アスベスト建材使用箇所等の事前調査~~

~~(1) 石綿等による健康障害を防止するため、とりこわし、改修工事の解体及び撤去等作業前、図面・施工範囲目視、その他適切な方法によるアスベスト含有材料の有無について調査を行い、報告書を監督員に提出する。アスベスト含有材料が無かった場合においても書面にて報告を行う。~~

~~報告書の記載内容~~

~~① アスベスト材料の種別~~

~~② アスベスト形状、飛散可能性の有無~~

~~③ 製造所・製品名称、製造所の公表するアスベスト含有率~~

~~なお、上記調査において、アスベスト分析調査が必要な場合は別途監督職員と協議を行う。~~

~~(2) 監督員の指示による「石綿（アスベスト）の事前調査結果」、「建築物等の解体・改修等作業に関するお知らせ」について、公衆の見やすい場所に掲示を行う。~~

15. 建設業退職金制度について

(1) 工事受注者は、自ら雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に共済証紙を貼付すること。

(2) 工事受注者が下請契約を締結する際は、下請業者に対して、建退共制度の趣旨を説明し下請業者が雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙をあわせて購入し現物により交付すること、または建退共制度の掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の建退共制度への加入並びに共済証紙の購入及び貼付を促進すべきこと。

~~(3) 請負代金の額が800万円以上の建設工事の請負契約を締結した時は、工事受注者は建退共制度の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事締結後1ヶ月以内に発注者に提出すること。なお、工事契約締結当初は工場製作の段階であるため建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により、期限内に当該工事に係る収納書を提出できない事情がある場合又は、建退共対象労働者を使用しない場合においては、あらかじめその理由を書面により申し出ること。~~

16. 資材の市内産優先使用及び市内企業の優先採用

(1) 工事受注者は、本工事に使用する材料については、規格・品質等の条件を満足するものについては、市内産資材を優先使用するよう努めること。

(2) 工事受注者は、工事用資材の調達に当たっては、極力市内の取扱い業者から購入すること。

(3) 下請契約を締結する際には、市内企業の採用に努めること。

17. 再資源化及び再生資源等使用状況

工事受注者は、しゅん工時にコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木くずの再資源化の状況、再生資源（再生クラッシャーラン、再生アスファルト・コンクリート、再生土砂）及び信州リサイクル製品の使用状況について、監督員へ報告すること。

18. レディーミクストコンクリート製造工場の選定について

受注者は、Ⅰ類コンクリートの製造工場を、JISマーク表示認証工場（改正工業標準化法（平成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場）で、かつ、コンクリート製造に係る指導及び品質管理を行う施工管

理技術者（コンクリート主任技士等）が置かれ、良好な品質管理が行われている工場（全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等）から選定する。ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議する。

19. 工事進捗状況報告書

監督員の指示により、毎月の工事の進捗状況を報告書にまとめて提出する。

添付書類

- ・ 工事記録（工事の経過に伴う主な工事内容等の事項を記載した月報）
- ・ 工事打合わせ記録簿（当月分）
- ・ 工事写真（工事の進捗状況がわかるものを数枚）

20. 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用权は、発注者に移譲する。

21. 設計図CADデータについて

本工事の設計図CADデータを貸与する。貸与したCADデータは、本工事の履行に必要な施工図の作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。

22. 完成写真の著作権の権利等について

工事受注者は、完成写真の撮影者との契約にあたって、以下の事項を条件とすること。

- ① 完成写真は、市が行う事務並びに市及び市が認めた公的機関の広報に、無償で使用する事ができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。
- ② 以下に掲げる行為をしてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、この限りではない。
 - イ. 完成写真を公表すること。
 - ロ. 完成写真を他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡すること。

令和5年度 ファインビュー室山 屋根塗装工事

令和 5年 6月

4-1

外壁改修工事
共通事項

・ポリマーセメントモルタル
ポリマーセメントモルタルの種類
合成ゴム系、アクリル系、エチレンー酢ビ系等

曲げ強さ (N/mm2)	圧縮強さ (N/mm2)	接着強さ (N/mm2)		
		標準時	湿潤時	低温時
6.0以上	20.0以上	1.8以上	0.8以上	0.5以上

表面状態 だれの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。
透水性 裏面の漏れ、水滴の付着がないこと。
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

・ポリマーセメントスラリー

応がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)
3以上	3%以下	0.5N/mm2以上	5.0N/mm2以上	15%以下	5.0N/mm2以上

保水係数 0.35～0.55
粘潤係数 0.50～1.00

・吸水調整材

項目	全固分(%)	吸水性(g)	接着強さ (N/mm2)	界面破壊率(%)
品質・性能	表示値±1%以内	30分間で1g以下	0.98以上	50%以上

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

4-2

外壁改修工事
コンクリート打放し仕上げ外壁

1. ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法

(4.1.4) (4.3.4～4.3.6)					
注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備 考	
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※		
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満	※50～100 ※100～200	※40 ・ ※70 ・		
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・		

注入材料
※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A6024低粘度形又は中粘度形)
・
検査 (コア採取) ※行わない
・行う (採取り部の補修方法：)

・ウカットシール材充てん工法

(4.1.4) (4.2.2) (4.3.5)			
充てん材料	品質・規格等	備 考	
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリマーセメントモルタルの充てん ポリウレタン系シーリング材	※行わない ・行う	
・可とう性エポキシ樹脂	・		

・シール工法

(4.1.4) (4.2.2) (4.3.6)		
シール材料	品質・規格等	
・パテ状エポキシ樹脂		
・可とう性エポキシ樹脂		

2. 欠損部改修工法

※充てん工法

(4.1.4) (4.2.2) (4.3.7)		
シール材料	品質・規格等	
・エポキシ樹脂モルタル		
・ポリマーセメントモルタル		

4-3

外壁改修工事
モルタル塗り仕上げ外壁

1. 既存モルタル壁りの撤去
2. ひび割れ部改修工法

・既存モルタル撤去工法 (範囲は図示 撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による)
※樹脂注入工法 (※既存モルタル面 ・既存躯体コンクリート面)

(4.1.4) (4.4.2) (4.4.5)					
注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (cc/m)	備 考	
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※		
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満	※50～100 ※100～200	※40 ・ ※70 ・		
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・		

注入材料
※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A6024低粘度形又は中粘度形)
・
検査 (コア採取) ※行わない
・行う (採取り部の補修方法：)

・ウカットシール材充てん工法

(4.1.4) (4.2.2) (4.3.5)			
充てん材料	品質・規格等	備 考	
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリマーセメントモルタルの充てん ポリウレタン系シーリング材	※行わない ・行う	
・可とう性エポキシ樹脂	・		

・シール工法 (※既存モルタル面 ・既存躯体コンクリート面)

(4.1.4) (4.2.2) (4.4.7)		
シール材料	品質・規格等	
・パテ状エポキシ樹脂		
・可とう性エポキシ樹脂		

・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 (※シール工法の範囲 ・)

3. 欠損部改修工法

既存モルタル面の欠損部

(4.1.4) (4.4.8) (4.4.9)		
改修工法の種類	材 料	品質・規格等
・充てん工法	ポリマーセメントモルタル	
・モルタル塗替え工法	改修標仕4.2.2(g)による	塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・行わない ・図示

既装目地材 ・適用する (形状 ※図示 ・)

4-4

外壁改修工事
タイル張り仕上げ外壁

1. 既存タイル張りの撤去
2. ひび割れ部改修工法

・外壁タイル張り全面 ・図示の範囲
撤去範囲 ※下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ

改修箇所 ※既存タイル張り面 ・既存タイル撤去面 (・コンクリート面 ・モルタル面)
※樹脂注入工法

(4.1.4) (4.3.4) (4.5.5)					
注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (cc/m)	備 考	
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※		
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 0.3以上～0.5未満	※50～100 ※100～200	※40 ・ ※70 ・		
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・		

注入材料 ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査 (コア採取) ※行わない ・行う (採取り部の補修方法：)

3. 欠損部改修工法

・ウカットシール材充てん工法 (既存タイル張り撤去面)

(4.1.4) (4.2.2) (4.3.5) (4.3.6)			
充てん材料	品質・規格等	備 考	
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・行う	
・可とう性エポキシ樹脂	・		

・タイル部分張替え工法

(4.1.4) (4.2.2) (4.5.7)		
接着剤の種類	品質・規格等	
※ポリマーセメントモルタル	『建設省官民連携共同研究所報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修 平成9年2月)』における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準 (案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプ1であって監督職員の承認するもの又は特記による。	
・変成シリコン樹脂		
・エポキシ樹脂		
・ポリウレタン樹脂		
・シリコン樹脂		
・タイル部分張替え工法用接着剤		

・タイル張替え工法

(4.1.4) (4.5.8)		
伸縮目地調整及びひび割れ誘発目地位置	(4.5.8) (表4.5.1)による	

4. 浮き部改修工法

(4.1.4) (4.5.10～4.5.15) (表4.4.3) (表4.4.4)						
改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	7/8吋-ビンの本数(本/㎡)		注入口の箇所数(箇所/㎡)		充てん量	
	一般部	指定部	一般部	指定部	注入量	
・アンカーベニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※1 6 ・	※2 5 ・	※1 2 ・	※2 0 ・	※2 5ml ・	
・アンカーベニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※1 3 ・	※2 0 ・			※2 5ml ・	
・アンカーベニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※1 3 ・	※2 0 ・	※1 2 ・	※2 0 ・	※5 0ml ・	
・注入口付アンカーベニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※1 6 ・	※9 ・	※2 5ml ・		
・注入口付アンカーベニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※1 6 ・		※2 5ml ・		
・注入口付アンカーベニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ・	※1 6 ・	※9 ・	※1 6 ・	※5 0ml ・	
・注入口付アンカーベニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法	※9 ・	※1 6 ・	※9 ・	※1 6 ・	※5 0ml ・	

アンカーピン
材質 ※ステンレスSUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
・

注入口付アンカーピン
材質 ※ステンレスSUS304、呼び径外径6mm
・

タイルの種類

(4.2.2) (4.5.7) (4.5.8)										
施工箇所	形状寸法 (mm)	き じ		釉 薬		役 物		色		備 考
		磁器	せつ器	陶器	無釉	施釉	有	無	標準	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・</		

6 内装改修工事	7. 防蟻・防蟻処理	行う箇所（ 防蟻処理 ※行う（※図示 防蟻処理 ※行う（※図示 防蟻、防蟻処理の種類、品質 表面処理用木材保存（防蟻、防蟻）剤は、監督職員の承諾するものとする。 クロルピリホスを含むものを添加しないこと。	21. セっこうボードその他 ボード張り	<table><tr><th colspan="2"></th><th colspan="2">(6.13.2) (表6.13.1)</th></tr><tr><th>種 類</th><th>JISの記号</th><th colspan="2">厚さ (mm)・規格等</th></tr><tr><td>・硬質木毛セメント板</td><td>HW</td><td>・15</td><td>・20 ・25</td></tr><tr><td>・普通木毛セメント板</td><td>NW</td><td>・15</td><td>・20 ・25</td></tr><tr><td>・硬質木片セメント板</td><td>NF</td><td>・15</td><td>・20 ・25</td></tr><tr><td>・けい酸カルシウム板</td><td>0.8FK</td><td>タイプ2（無石綿）</td><td>・6 ・8</td></tr><tr><td>・ロックウール化粧吸音板（内部用）</td><td rowspan="2">DR</td><td>※フラットタイプ（※9（不燃）</td><td>・12 ・</td></tr><tr><td></td><td>・凹凸タイプ（※12（不燃）</td><td>・15 ・19 ・</td></tr><tr><td>・ロックウール化粧吸音板（外部用）</td><td rowspan="2"></td><td>※フラットタイプ（※9（不燃）</td><td>・12 ・</td></tr><tr><td></td><td>・凹凸タイプ（※12（不燃）</td><td>・15 ・19 ・</td></tr><tr><td>・せっこうボード</td><td>GB-R</td><td>・9.5（準不燃）</td><td>・12.5（不燃）</td></tr><tr><td>・不燃積層せっこうボード</td><td>GB-NC</td><td>9.5（不燃）化粧無（下地張り用）化粧有（トラバーチン模様）</td><td></td></tr><tr><td>・シーシングせっこうボード</td><td>GB-S</td><td>12.5（不燃）</td><td></td></tr><tr><td>・強化せっこうボード</td><td>GB-F</td><td>・12.5（不燃）</td><td>・15.0（不燃）</td></tr><tr><td>・せっこうラスボード</td><td>GB-L</td><td>9.5</td><td></td></tr><tr><td>・化粧せっこうボード</td><td rowspan="2">GB-D</td><td>9.5（不燃）</td><td></td></tr><tr><td>・化粧せっこうボード（木目）</td><td>12.5（不燃）幅440程度模様（※径目・板目）専用下地材付き</td><td></td></tr><tr><td>・普通合板（難燃処理）</td><td></td><td>・生地、透明塗料塗り（ラワン合板程度）</td><td>・不透明塗料塗り（しな合板程度）</td></tr><tr><td>・メラミン樹脂化粧板</td><td>—</td><td>JIS K6903による</td><td>厚さ1.2</td></tr><tr><td>・3P（7M）2P（7M）ボード</td><td>MDF</td><td>・3</td><td>・7 ・9 ・12</td></tr><tr><td>・単板張りパーティクルボード</td><td></td><td>・無研磨板VN</td><td>・研磨板VS</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・10</td><td>・12 ・15</td></tr><tr><td>・ハードボード（素地）</td><td>HB</td><td>・素地</td><td>・RN-HB ・RS-HB</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・2.5</td><td>・3.5 ・5 ・7</td></tr><tr><td>・インシュレーションボード</td><td>IB</td><td>・T-IB</td><td>・A-IB ・S-IB</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・9</td><td>・12 ・15 ・18</td></tr></table> 合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量の等級 ※規制対象外 ・第三種			(6.13.2) (表6.13.1)		種 類	JISの記号	厚さ (mm)・規格等		・硬質木毛セメント板	HW	・15	・20 ・25	・普通木毛セメント板	NW	・15	・20 ・25	・硬質木片セメント板	NF	・15	・20 ・25	・けい酸カルシウム板	0.8FK	タイプ2（無石綿）	・6 ・8	・ロックウール化粧吸音板（内部用）	DR	※フラットタイプ（※9（不燃）	・12 ・		・凹凸タイプ（※12（不燃）	・15 ・19 ・	・ロックウール化粧吸音板（外部用）		※フラットタイプ（※9（不燃）	・12 ・		・凹凸タイプ（※12（不燃）	・15 ・19 ・	・せっこうボード	GB-R	・9.5（準不燃）	・12.5（不燃）	・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5（不燃）化粧無（下地張り用）化粧有（トラバーチン模様）		・シーシングせっこうボード	GB-S	12.5（不燃）		・強化せっこうボード	GB-F	・12.5（不燃）	・15.0（不燃）	・せっこうラスボード	GB-L	9.5		・化粧せっこうボード	GB-D	9.5（不燃）		・化粧せっこうボード（木目）	12.5（不燃）幅440程度模様（※径目・板目）専用下地材付き		・普通合板（難燃処理）		・生地、透明塗料塗り（ラワン合板程度）	・不透明塗料塗り（しな合板程度）	・メラミン樹脂化粧板	—	JIS K6903による	厚さ1.2	・3P（7M）2P（7M）ボード	MDF	・3	・7 ・9 ・12	・単板張りパーティクルボード		・無研磨板VN	・研磨板VS			・10	・12 ・15	・ハードボード（素地）	HB	・素地	・RN-HB ・RS-HB			・2.5	・3.5 ・5 ・7	・インシュレーションボード	IB	・T-IB	・A-IB ・S-IB			・9	・12 ・15 ・18	
			(6.13.2) (表6.13.1)																																																																																																							
	種 類	JISの記号	厚さ (mm)・規格等																																																																																																							
	・硬質木毛セメント板	HW	・15	・20 ・25																																																																																																						
	・普通木毛セメント板	NW	・15	・20 ・25																																																																																																						
	・硬質木片セメント板	NF	・15	・20 ・25																																																																																																						
	・けい酸カルシウム板	0.8FK	タイプ2（無石綿）	・6 ・8																																																																																																						
	・ロックウール化粧吸音板（内部用）	DR	※フラットタイプ（※9（不燃）	・12 ・																																																																																																						
			・凹凸タイプ（※12（不燃）	・15 ・19 ・																																																																																																						
	・ロックウール化粧吸音板（外部用）		※フラットタイプ（※9（不燃）	・12 ・																																																																																																						
	・凹凸タイプ（※12（不燃）		・15 ・19 ・																																																																																																							
・せっこうボード	GB-R	・9.5（準不燃）	・12.5（不燃）																																																																																																							
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5（不燃）化粧無（下地張り用）化粧有（トラバーチン模様）																																																																																																								
・シーシングせっこうボード	GB-S	12.5（不燃）																																																																																																								
・強化せっこうボード	GB-F	・12.5（不燃）	・15.0（不燃）																																																																																																							
・せっこうラスボード	GB-L	9.5																																																																																																								
・化粧せっこうボード	GB-D	9.5（不燃）																																																																																																								
・化粧せっこうボード（木目）		12.5（不燃）幅440程度模様（※径目・板目）専用下地材付き																																																																																																								
・普通合板（難燃処理）		・生地、透明塗料塗り（ラワン合板程度）	・不透明塗料塗り（しな合板程度）																																																																																																							
・メラミン樹脂化粧板	—	JIS K6903による	厚さ1.2																																																																																																							
・3P（7M）2P（7M）ボード	MDF	・3	・7 ・9 ・12																																																																																																							
・単板張りパーティクルボード		・無研磨板VN	・研磨板VS																																																																																																							
		・10	・12 ・15																																																																																																							
・ハードボード（素地）	HB	・素地	・RN-HB ・RS-HB																																																																																																							
		・2.5	・3.5 ・5 ・7																																																																																																							
・インシュレーションボード	IB	・T-IB	・A-IB ・S-IB																																																																																																							
		・9	・12 ・15 ・18																																																																																																							
9. 軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 屋外（・19型 ※25型） 屋内（※19型 ・25型） ・点検口開口補強 既存の埋込インサート ・使用しない ・使用しない あと施工アンカーの引抜き試験 ※行う ・行わない ※天井ふところ1.5m以上の場合は吊りボルトの補強を行う 耐震性を考慮した補強 ※図示 屋外軒天井及びピロティー天井等における耐風圧性を考慮した補強 ※図示	(6.6.2) (表6.6.1) (6.6.3) (6.6.4) (6.6.4)																																																																																																								
10. 軽量鉄骨壁下地	スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 ・	(6.7.3) (表6.7.1)																																																																																																								
11. ビニル床シート張り	<table><tr><th colspan="2"></th><th colspan="2">(6.8.2)</th></tr><tr><th>種 類</th><th>JISの記号</th><th>色 柄</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td>※発泡層のないもの</td><td>※NC</td><td>・ ※無地 ・ マーブル柄</td><td>※2.5 ・ 2.0</td></tr><tr><td>・ 発泡層のあるもの</td><td></td><td>※柄物 ・ 無地</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 工法 ※熱溶接工法 ・ 突付け（施工箇所：）			(6.8.2)		種 類	JISの記号	色 柄	厚さ (mm)	※発泡層のないもの	※NC	・ ※無地 ・ マーブル柄	※2.5 ・ 2.0	・ 発泡層のあるもの		※柄物 ・ 無地		・				(6.8.2) (6.8.3)																																																																																				
		(6.8.2)																																																																																																								
種 類	JISの記号	色 柄	厚さ (mm)																																																																																																							
※発泡層のないもの	※NC	・ ※無地 ・ マーブル柄	※2.5 ・ 2.0																																																																																																							
・ 発泡層のあるもの		※柄物 ・ 無地																																																																																																								
・																																																																																																										
12. ビニル床タイル張り	<table><tr><th colspan="2"></th><th colspan="2">(6.8.2)</th></tr><tr><th>種 類</th><th>JISの記号</th><th>厚さ (mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>※コンポジションビニル床タイル（半硬質）</td><td>C T</td><td>※2</td><td></td></tr><tr><td>・ コンポジションビニル床タイル（軟質）</td><td>C T S</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・ ホモジニアスピニル床タイル</td><td>H T</td><td>・</td><td></td></tr></table>			(6.8.2)		種 類	JISの記号	厚さ (mm)	備 考	※コンポジションビニル床タイル（半硬質）	C T	※2		・ コンポジションビニル床タイル（軟質）	C T S	・		・ ホモジニアスピニル床タイル	H T	・		(6.8.2)																																																																																				
		(6.8.2)																																																																																																								
種 類	JISの記号	厚さ (mm)	備 考																																																																																																							
※コンポジションビニル床タイル（半硬質）	C T	※2																																																																																																								
・ コンポジションビニル床タイル（軟質）	C T S	・																																																																																																								
・ ホモジニアスピニル床タイル	H T	・																																																																																																								
13. 帯電防止床タイル張り	<table><tr><th colspan="2"></th><th colspan="2">(6.8.2)</th></tr><tr><th>種 類</th><th>厚さ (mm)</th><th>性 能</th><th></th></tr><tr><td>・ コンポジションビニル床タイル</td><td>※2</td><td>体積抵抗値 (JIS K6911による) 1.0×10¹⁰Ω以下、または、 漏えい抵抗値 (JIS A1454による) 1.0×10¹⁰Ω未満</td><td></td></tr><tr><td>・ ホモジニアスピニル床タイル</td><td>※4.0又は4.5</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td></td><td></td></tr></table>			(6.8.2)		種 類	厚さ (mm)	性 能		・ コンポジションビニル床タイル	※2	体積抵抗値 (JIS K6911による) 1.0×10 ¹⁰ Ω以下、または、 漏えい抵抗値 (JIS A1454による) 1.0×10 ¹⁰ Ω未満		・ ホモジニアスピニル床タイル	※4.0又は4.5			・	・			(6.8.2)																																																																																				
		(6.8.2)																																																																																																								
種 類	厚さ (mm)	性 能																																																																																																								
・ コンポジションビニル床タイル	※2	体積抵抗値 (JIS K6911による) 1.0×10 ¹⁰ Ω以下、または、 漏えい抵抗値 (JIS A1454による) 1.0×10 ¹⁰ Ω未満																																																																																																								
・ ホモジニアスピニル床タイル	※4.0又は4.5																																																																																																									
・	・																																																																																																									
14. 視覚障害者用床タイル（誘導用及び注意喚起用床材）	ブロックパターンはJIS T 9251による 色彩は黄色を原則とする 屋 内 ※強化ビニル製 ・磁器又はせっ器質タイル（※300 ・） ・ レジンコンクリート製 屋 外 ※レジンコンクリート製 ・磁器又はせっ器質タイル（※300 ・）	(6.8.2)																																																																																																								
15. ビニル幅木	高さ (mm) ・60 ・75 ・100	(6.8.2)																																																																																																								
16. 合成樹脂塗床	<table><tr><th colspan="2"></th><th colspan="2">(6.10.3) (表6.10.3～表6.10.7)</th></tr><tr><th>種 別</th><th>仕 上 げ の 種 類</th><th colspan="2"></th></tr><tr><td>・弾性ウレタン塗床材</td><td>※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>・エポキシ樹脂塗床材</td><td>※薄膜流し膜べ仕上げ ・厚膜流し膜べ仕上げ（※平滑 ・ 防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（※平滑 ・ 防滑） ・ 防滑仕上げ</td><td colspan="2"></td></tr></table>			(6.10.3) (表6.10.3～表6.10.7)		種 別	仕 上 げ の 種 類			・弾性ウレタン塗床材	※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ			・エポキシ樹脂塗床材	※薄膜流し膜べ仕上げ ・厚膜流し膜べ仕上げ（※平滑 ・ 防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（※平滑 ・ 防滑） ・ 防滑仕上げ			(6.10.3) (表6.10.3～表6.10.7)																																																																																								
		(6.10.3) (表6.10.3～表6.10.7)																																																																																																								
種 別	仕 上 げ の 種 類																																																																																																									
・弾性ウレタン塗床材	※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ																																																																																																									
・エポキシ樹脂塗床材	※薄膜流し膜べ仕上げ ・厚膜流し膜べ仕上げ（※平滑 ・ 防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（※平滑 ・ 防滑） ・ 防滑仕上げ																																																																																																									
17. フローリング張り	ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量の等級 ※規制対象外 ・第三種	(6.11.2～6.11.7) (表6.11.1～表6.11.4)																																																																																																								
18. 畳敷き	<table><tr><th colspan="2"></th><th colspan="2">(6.12.2) (6.12.3) (表6.12.1)</th></tr><tr><th>種 別</th><th>材 種</th><th>工 法</th><th>仕 上 げ 塗 装 等</th></tr><tr><td>※天然木化粧複合フローリング</td><td>※なら</td><td>※釘どめ工法（C種）</td><td>※塗装品</td></tr><tr><td>・ 単層フローリング</td><td>・ ひのき</td><td></td><td>・ 無塗装品</td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table>			(6.12.2) (6.12.3) (表6.12.1)		種 別	材 種	工 法	仕 上 げ 塗 装 等	※天然木化粧複合フローリング	※なら	※釘どめ工法（C種）	※塗装品	・ 単層フローリング	・ ひのき		・ 無塗装品		・	・	・		・	・	・	(6.12.2) (6.12.3) (表6.12.1)																																																																																
		(6.12.2) (6.12.3) (表6.12.1)																																																																																																								
種 別	材 種	工 法	仕 上 げ 塗 装 等																																																																																																							
※天然木化粧複合フローリング	※なら	※釘どめ工法（C種）	※塗装品																																																																																																							
・ 単層フローリング	・ ひのき		・ 無塗装品																																																																																																							
	・	・	・																																																																																																							
	・	・	・																																																																																																							
19. 8'リズパフォーム床下地材	ノンフロンのもの 畳下地 厚さ (mm) ※40 ・65 ・80（不燃） フローリング類 厚さ (mm) ※80 ・95（不燃）	(6.12.2) (6.12.3) (表6.12.1)																																																																																																								
20. カーペット敷き	・織じゅうたん 種 別 バイル形状 ・ A種 ・ カットバイル ・ B種 ・ ループバイル ・ C種 ・ カット、ループバイル併用 帯電性 ※人体帯電圧3kV以下 ・ ・タフテッドカーペット バイル形状 バイル長 (mm) ・ カットバイル ※5～7 ・ ※全面接着工法 ・ ループバイル ※4～6 ・ ・ グリッター工法 ・ カット、ループ併用 帯電性 ※人体帯電圧3kV以下 ・ ・タイルカーペット バイル形状 種 類 種 類 総厚さ (mm) ※ループバイル ※第一種 ※500×500 ・ ※6.5 ・ ・ カットバイル ・ カット、ループ併用 帯電性 ※人体帯電圧3kV以下（フリア77x77の敷設範囲）	(6.9.2) (6.9.3) (表6.9.1) (6.9.2) (6.9.3) (表6.9.2) (6.9.2) (6.9.3) (表6.9.2)																																																																																																								
21. セっこうボードその他 ボード張り																																																																																																										
22. 吸音材																																																																																																										
23. 壁紙張り																																																																																																										
24. モルタル塗り材料																																																																																																										
25. 陶磁器質タイル張り																																																																																																										
26. 断熱材																																																																																																										
27. 浴室天井材																																																																																																										
28. フリア77x77																																																																																																										
29. 可動間仕切																																																																																																										
30. 移動式間仕切																																																																																																										
31. トイレブース																																																																																																										
32. 階段滑止め																																																																																																										
33. 階段手すり																																																																																																										
34. 黒板及び ホワイトボード																																																																																																										
35. 表示																																																																																																										
36. ブラインド																																																																																																										
37. ロールスクリーン																																																																																																										
38. カーテン																																																																																																										
39. カーテンレール																																																																																																										
40. アラインドック 及びドック																																																																																																										
41. 天井点検口																																																																																																										
42. 床点検口																																																																																																										
43. 鋼製書架及び物品棚																																																																																																										
44. くつふきマット																																																																																																										
45. 流し台ユニット																																																																																																										
46. 屋内揭示板																																																																																																										
47. 洗面カウンター																																																																																																										
48. 収納家具																																																																																																										
49. 防煙垂れ壁																																																																																																										
50. 塗装改修工事																																																																																																										
51. 材料																																																																																																										
52. 下地調整																																																																																																										
53. 合成樹脂調合ペイント塗り																																																																																																										
54. フォス酸樹脂タイル塗り																																																																																																										
55. 2液形シリコンタイル塗り																																																																																																										
56. フォスシリコン樹脂タイル塗り																																																																																																										
57. 帯電乾燥形フッ素樹脂 タイル塗り																																																																																																										
58. つや有合成樹脂エポキシ ペイント塗り																																																																																																										
59. 合成樹脂エポキシペイント 塗り																																																																																																										
60. 合成樹脂エポキシ模様 塗り																																																																																																										
61. 換気扇																																																																																																										
62. 浴室天井材																																																																																																										
63. 天井点検口																																																																																																										
64. 床点検口																																																																																																										
65. 換気扇																																																																																																										
66. 浴室天井材																																																																																																										
67. 天井点検口																																																																																																										
68. 床点検口																																																																																																										
69. 換気扇																																																																																																										
70. 浴室天井材																																																																																																										
71. 天井点検口																																																																																																										
72. 床点検口																																																																																																										
73. 換気扇																																																																																																										
74. 浴室天井材																																																																																																										
75. 天井点検口																																																																																																										
76. 床点検口																																																																																																										
77. 換気扇																																																																																																										
78. 浴室天井材																																																																																																										
79. 天井点検口																																																																																																										
80. 床点検口																																																																																																										
81. 換気扇																																																																																																										
82. 浴室天井材																																																																																																										
83. 天井点検口																																																																																																										
84. 床点検口																																																																																																										
85. 換気扇																																																																																																										
86. 浴室天井材																																																																																																										
87. 天井点検口																																																																																																										
88. 床点検口																																																																																																										
89. 換気扇																																																																																																										
90. 浴室天井材																																																																																																										
91. 天井点検口																																																																																																										
92. 床点検口																																																																																																										
93. 換気扇																																																																																																										
94. 浴室天井材																																																																																																										
95. 天井点検口																																																																																																										
96. 床点検口																																																																																																										
97. 換気扇																																																																																																										
98. 浴室天井材																																																																																																										
99. 天井点検口																																																																																																										
100. 床点検口																																																																																																										
101. 換気扇																																																																																																										
102. 浴室天井材																																																																																																										
103. 天井点検口																																																																																																										
104. 床点検口																																																																																																										
105. 換気扇																																																																																																										
106. 浴室天井材																																																																																																										
107. 天井点検口																																																																																																										
108. 床点検口																																																																																																										
109. 換気扇																																																																																																										
110. 浴室天井材																																																																																																										
111. 天井点検口																																																																																																										
112. 床点検口																																																																																																										
113. 換気扇																																																																																																										
114. 浴室天井材																																																																																																										
115. 天井点検口																																																																																																										
116. 床点検口																																																																																																										
117. 換気扇																																																																																																										
118. 浴室天井材																																																																																																										
119. 天井点検口																																																																																																										
120. 床点検口																																																																																																										
121. 換気扇																																																																																																										
122. 浴室天井材																																																																																																										
123. 天井点検口																																																																																																										
124. 床点検口																																																																																																										
125. 換気扇																																																																																																										
126. 浴室天井材																																																																																																										
127. 天井点検口																																																																																																										
128. 床点検口																																																																																																										
129. 換気扇																																																																																																										
130. 浴室天井材																																																																																																										
131. 天井点検口																																																																																																										
132. 床点検口																																																																																																										
133. 換気扇																																																																																																										
134. 浴室天井材																																																																																																										
135. 天井点検口																																																																																																										
136. 床点検口																																																																																																										
137. 換気扇																																																																																																										
138. 浴室天井材																																																																																																										
139. 天井点検口																																																																																																										

8-1

耐震改修工事及び耐震改修範囲以外の躯体改修工事

1. 鉄筋の種類

種類

呼び名 (mm)

規格

2. 溶接金網

網目の形状、寸法及び鉄線の径

網目の形状、寸法 (たて×よこ)

鉄線の径または呼び (mm)

規格

3. 鉄筋の継手

継手方法

呼び名 (mm)

適用箇所

4. 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ

最小かぶり厚さは目地底から算定する。

耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。

5. 各部の配筋

柱の配筋

帯筋の組立ての形の種別

H形

W-I形

※W-Ⅲ形

6. ガス圧接

圧接部の確認試験

超音波探傷試験

引張試験

7. コンクリートの種別及び強度

引張強度

コンクリートの種別

I類

Ⅱ類

8. コンクリートの品質

スラップ

スラップ (cm)

適用箇所

9. 普通コンクリート

セメントの種類

※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種

高炉セメントB種

普通ポルトランドセメントは、JIS R5210に示された規定のほか、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。

水和熱

7d

352J/g以下

28d

402J/g以下

10. 無筋コンクリート

種別

設計基準強度 (N/mm²)

スラップ (cm)

粗骨材の最大寸法

適用箇所

11. 高い強度のコンクリート

設計基準強度 (N/mm²)

27

30

33

36

適用箇所 ()

12. 鉄骨製作工場

製作工場の加工能力

監督職員の承諾する製作者

※建築基準法第77条の4第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた (株) 日本鉄骨評価センター又は (社) 全国鉄骨工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「 () グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。

13. 入熱、バスの入熱温度の溶接条件

適用箇所

※柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部

図示

鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件

図示

14. 施工管理技術者

※適用する

適用しない

15. 鋼材

鋼材の材質

種類の記号

使用箇所

規格等

16. スカラップ

※改良型スカラップ

17. 高力ボルト

高力ボルトの適用

※トルシア形高力ボルト

JIS形高力ボルト

溶融亜鉛めっき高力ボルト

18. 鉄骨工作仮組

行う

※行わない

19. 溶接部の試験

完全溶込み溶接部の超音波探傷試験

※行う

20. 錆止め塗装

耐火被覆材の接着する面の塗装

行う (※JIS K5662)

※行わない

22. 耐火被覆材

種別

所要性能及び適用構造区分

23. 既存コンクリート面の目荒し

適用範囲

※既存コンクリートとの打継ぎ面

※既存コンクリートとモルタル又はゲラウト材の充填部の接合面

目荒らしの範囲

※柱・梁面 打継ぎ面又は接合面全面の3/4以上

※壁面 打継ぎ面又は接合面全面の1/3程度

目荒らしの程度

※平均深さ5～10mm (最大深さ10～15mm) 程度の凹部を施す

24. モルタル及びゲラウト材

柱底等の均しモルタル

※無収縮モルタル

標仕様7.10.2によるB種

ゲラウト材

※無収縮ゲラウト材

無収縮モルタル及び無収縮ゲラウト材の仕様は以下による

無収縮グラウト材

プレミックス及び現場混合形

混和材

セメント系 (酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等) によって膨張する性質を利用するものとする。

セメント

JIS R 5210 (ポルトランドセメント) による普通又は早強ポルトランドセメントとする。

砂

土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。

ただし、現場混合形に使用させる砂の乾燥状態については規定しない。

無収縮モルタルの品質及び試験方法 (現場混合形においては標準使用量・配合値)

コンシステンシー

Jローによる落下時間

練混ぜ完了から3分以内の値は

8±2秒

ブリージング

練混ぜ2時間後のブリージング率

2.0%以下

凝結時間

凝結開始時間

1時間以上

終結時間

10時間以内

無収縮性

材料7日

収縮しないこと

圧縮強度

材料3日

25.0 N/mm²以上

材料28日

45.0 N/mm²以上

付着強度

材料28日

2.5 N/mm²以上

塩化物質

0.30 kg/m²以下

試験方法

(1) 日本道路公団規格 (JHS) 「無収縮モルタル品質管理試験方法」312-1999による。

なお、プレミックス材と現場混合形に混和材が同一の場合はプレミックスのみ試験を行う。

(2) 塩化物質量は、JIS A 5308 「プレミックスコンクリート」の9.6塩化物質含有量の試験方法による。

無収縮モルタル

混和材

セメント系 (酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等) によって膨張する性質を利用するものとする。

セメント

JIS R 5210 (ポルトランドセメント) による普通又は早強ポルトランドセメントとする。

砂

土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。

配合比

(各重量比)

(セメント+混和材) : 砂 = 1 : 1

無収縮モルタルの品質及び試験方法

コンシステンシー

Jローによる落下時間

練混ぜ完了から3分以内の値は

8±2秒

ブリージング

練混ぜ2時間後のブリージング率

2.0%以下

凝結時間

凝結開始時間

1時間以上

終結時間

10時間以内

無収縮性

材料7日

収縮しないこと

圧縮強度

材料3日

25.0 N/mm²以上

材料28日

45.0 N/mm²以上

付着強度

材料28日

3.0 N/mm²以上

塩化物質

0.30 kg/m²以下

試験方法

(1) 日本道路公団規格 (JHS) 「無収縮モルタル品質管理試験方法」312-1999による。

(2) 塩化物質量は、JIS A 5308 「プレミックスコンクリート」の9.6塩化物質含有量の試験方法による。

25. あと施工アンカーの材料

あと施工アンカーの材料

金属系アンカー (耐震補強用)

※接着剤アンカー

接着剤の品質

※有機系

アンカー筋の種類

※鉄筋コンクリート用棒鋼

全ネジボルト

カプセル型の施工による分類

※回転・打撃式

打込み式

26. あと施工アンカーの穿孔

穿孔孔の埋込み配管等の探索

範囲

※あと施工アンカー施工部分全て

図示

方法

※探索器により探索し、配管等の位置の墨出を行う

はつり出しによる

27. あと施工アンカーの施工確認試験

アンカー筋

※行う (確認強度は図示による)

行わない

28. 断熱材兼用型枠

種別

施工箇所

厚さ (mm)

品質等

断熱材兼用型枠

木質系

※壁 (図示の範囲)

40以下

断熱抵抗

厚さ/熱伝導率

=0.676 (m²・K/W) 以上

製造所

建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの

8-2

耐震改修工事

1. 打増し壁に用いるシアコネクタ

現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ

種類

※「23 あと施工アンカーの材料」による

間隔 (mm)

※500×500

図示

2. 増設・補強工事のコンクリートの打込み

工法の種類

流し込み工法または圧入工法

3. 柱補強

溶接金網巻工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法

柱頭柱脚の隙間部間の型枠

※ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む

図示

4. 連続繊維シート巻き

材料・形状

採用した工法の規定を満足するもの

材質

引張り強度 (含浸硬化後)

2500N/mm²以上

3000N/mm²以上

ヤング係数 (含浸硬化後)

2.35×10³N/mm²程度

2.00×10³N/mm²程度

工法

※ (財) 日本建築防災協会の評価を受けた工法

下地調整

仕上げモルタルの除去

※行う

行わない

柱の隅角部の面取り

※工法の評価内容による

5. スリットの施工

スリット部の配管等の探索

※探索により探索し、配管等の位置の墨出を行う

はつり出し

9. 環境配慮 (グリーン) 改修工事

1. アスベスト含有分析調査

分析による確認

下表による

図示

材 料 名

調査方法

(1材料あたりの試料数)

※定性分析 (※3)

※定量分析 (※3)

※定性分析 (※3)

※定量分析 (※3)

仕上表による

仕上表による

分析方法

JIS A1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による

分析結果については、監督職員に提出すること

2. アスベスト粉じん濃度測定

測定場所

※図示

測定点

※図示

アスベスト粉じん濃度測定方法

アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K3850-1空気中の繊維状粒子測定方法-第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差・分散顕微鏡法による。

測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

3. 7xバシ含有吹付け材の除去 (レベル1)

アスベスト含有吹付け材の除去方法

解体共仕6.3.2によるほか、部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様で監督職員の承諾するものとする。

除去物及び汚染物質等

※密封処理 (二重袋梱包)

隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタ等についても密封処理を行う。

4. 7xバシ含有保温材等の除去 (レベル2)

アスベスト含有保温材等の除去方法

解体共仕6.4.2によるほか、部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様で監督職員の承諾するものとする。

除去物及び汚染物質等

※密封処理 (二重袋梱包)

隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタ等についても密封処理を行う。

5. 7xバシ含有成形板の除去 (レベル3)

アスベスト含有成形板の除去方法

解体共仕6.5.2によるものとする。

6. 外断熱改修工事

断熱材の種類

材料名

厚さ (mm)

既存外装の仕上材の撤去

有り

なし

下地面の清掃及び下地調整

※断熱材製造所の指定する仕様

通気層

有り

mm

なし

試験施工、工法及び品質は、確認できる試料を提出し監督員の承諾を受ける

特記なき事項は、製造所の仕様による

7. ガラス改修工事

複層ガラスの厚さ

建具表による

断熱性・日射遮蔽性による区分

※U3-1

U3-2

8. 屋上緑化改修工事

植栽基盤及び材料

屋上緑化軽量システム

芝及び地被類の樹種並びに種類等

※図示

9. 透水性アスファルト舗装改修工事

舗装材料

※再生クラッシャーラン (RC-40)

クラッシャーラン (C-40) 又はクラッシャーランスラグ (CS-40)

透水性の高いものを使用する

遮断層及び凍上抑制層の材料

遮断層

※川砂、海砂及び良質な山砂

凍上抑制層

※再生クラッシャーラン・クラッシャーラン・切り込み砂利・砂

厚さは図示

盛土に用いる材料

A種

B種

C種

D種

路床安定処理

※添加材料による安定処理

種類

普通ポルトランドセメント

フライアッシュセメントB種

高炉セメントB種

生石灰

消石灰

添加量

Kg/m³ (目標CBR ※5以上)

路床土の支持力比試験

※行う (※乱した土・乱されない土)

路床締固め度の試験

※行う

アスファルト混合物

車道部

※改質アスファルト1型

歩道部

※ストレータアスファルト

透水性アスファルト混合物等の抽出試験

※行わない

行う

10. 工事現場の環境改善・建設副産物及びISO関係

1. 工事現場の環境改善について

工事現場のイメージアップ

仮囲い周辺の美化

地域住民への情報提供

完成予想図の設置

情報掲示板の設置

パンフレットの作成

地域住民とのコミュニケーション

現場見学会の開催

住民に対する災害防止関係

現場出入口周辺への誘導員の配備

2. 産業廃棄物の取扱いについて

(1) 解体工事を伴う場合は、別途の解体工事仕様書によること。

(2) 廃棄物の処理に当たっては、請負者が自ら処理 (分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為) するときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」 (以下「廃棄物処理法」という。) に基づき、適正に行うこと。

(3) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施行前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図を監督員に提出すること。

(4) しゅん工したときは、積込み状況の写真、処分状況の写真、マフラー黒票、B2票、D票並びにE票の写しを監督員に提出すること。

(E2票及びD票はマフラー交付90日 (特別管理産業廃棄物は60日) 、E票は180日以内に提出するものとし、工期内に提出できない場合は、監督員と協議すること。)

3. 再生資源利用促進計画書等について

「再生資源の利用の促進に関する法律」 (以下「リサイクル法」という。) に基づき、請負者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を提出し、監督員の承諾を受けること。また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を提出すること。

対象工事：リサイクル法に規定する一定規模以上の工事又は工事規模が1千万円以上の工事

(1) 現場で使用する機械は、低騒音、低振動、低排ガス型施工機械とすること。

(2) 夜間、早朝等の稼働を避けること。ただし、監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートを選択に当たっては影響の少ないルートを選択すること。

(3) 汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。

(4) 地盤改良によって、周辺への水質、土壌など地下水に影響を与えるおそれがある場合は監督職員と協議を行うこと。

「参考資料」：平成12年3月24日付、建設省技調発第49号、同宮建発第10号 (改正平成13年4月20日) 「セメント及びセメント系固化工材の地盤改良への使用及び改良土の再利用に関する当面の措置について」

(5) 熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

資機材の運搬にあたっては、運搬車両の最大積載量を把握し過積載を行わないよう計画すること。また、危険の恐れがあるものについては、危険しないような処置を行い運搬すること。

11. その他

1. 保険等

(1) 本建築引渡しまで請負者は工事事務、工事材料等について火災保険を掛けなければならない。

(2) 工事期間中請負者の責任において労災保険に加入し、その負担は請負者とする。

(1) 暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

(2) 工事請負額が500万円以上の工事については、工事実績情報 (工事カルテ) の登録をすること。

(ただし工事請負代金額500万円以上2,500万円の工事については、受注時・訂正時のみ登録するものとする。)

登録する場合は、あらかじめ監督職員の確認を受け、次に示す期間内に (財) 日本建設情報総合センター (JACIC) に登録の手続きを行うとともに、登録されたことを証明する資料を監督職員に提出する。

なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

① 工事受注時

契約締結後10日以内

② 登録内容の変更時

変更契約締結後10日以内

③ 工事完成時

工事完成後10日以内

(連絡先： (財) 日本建設情報総合センター ☎03-3505-2973)

(3) 下請負契約締結後、速やかに下請入通知書を提出すること。

(4) 現場施工体制において、請負者は施工体制台帳を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、監督職員に写しを提出すること。

また、工事現場における施工の分担関係を明示した「施工体系図」を作成し、これを工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。

※施工体制台帳に記載すべき内容

建設業法施行規則 第14条の2第1項に掲げる事項

安全衛生責任者名、安全衛生推進者名、雇用管理責任者名

(5) 下請業種等については、建設工事に関連性をもち、元請負人の指揮、調整のもと行われるものであるため施工体制台帳、施工体系図、施工体系図、契約書及び下請負人通知書等整備すること。また、下請業種同等と考えられるものについても、同様に整備すること。

交通整理員、ガードマン

産業廃棄物処理業者

ダンプ運転 (1人親方のダンプ運転手)

1日で完了する請負契約、小額な作業・雑工・労務のみ単価契約の請負契約

クレーン作業、コンクリートポンプ打設等日々の単価契約で行っているもの

クレーン等の重機オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合

他の会社から応援者を借上げ、請負契約を締結した場合 (臨時雇用関係である場合を除く)

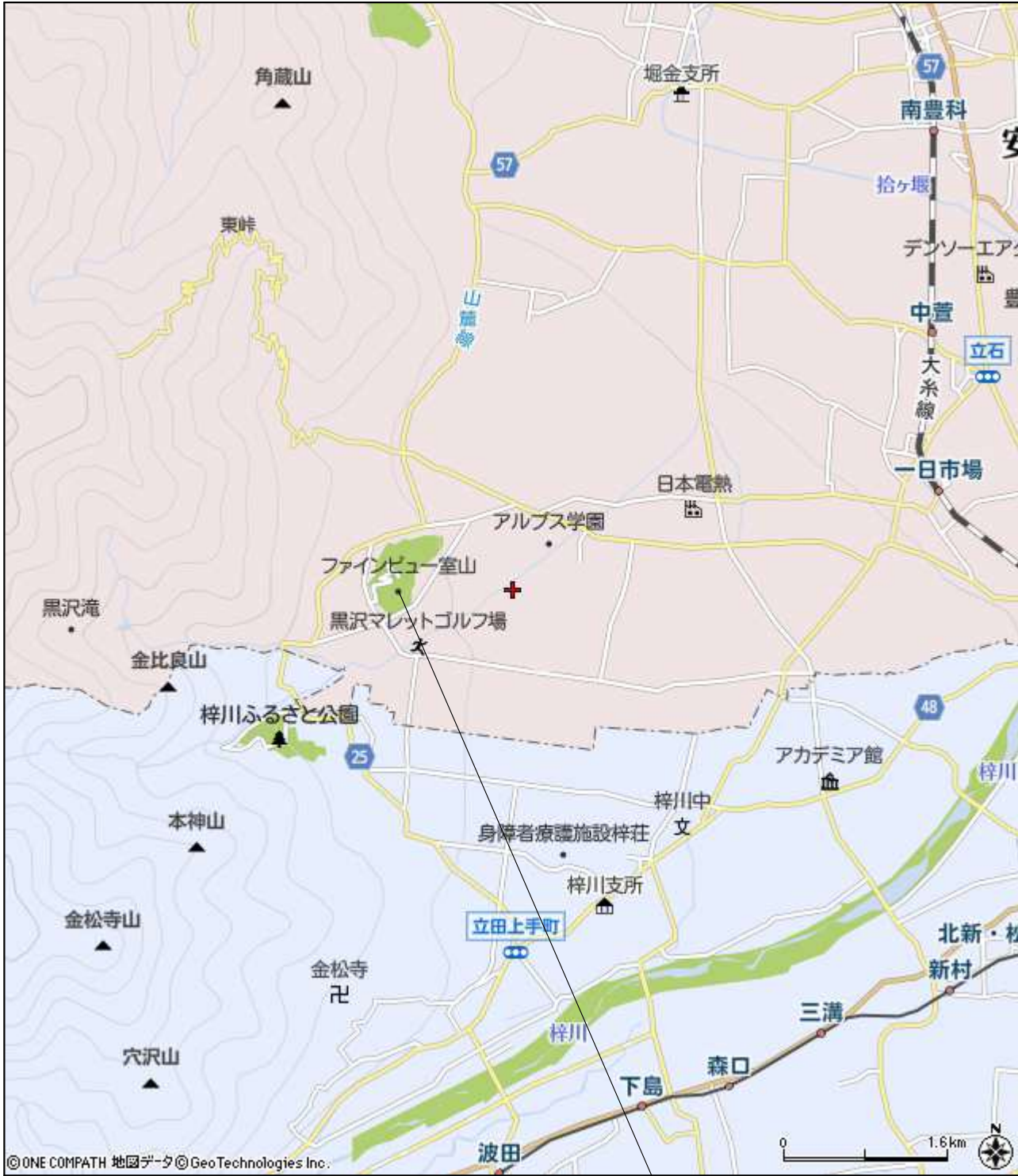
(6) 本工事について、公共工事労務費調査、資材調査、建設副産物実態調査等の調査依頼を受けた場合は、これに協力すること。

(7) 施行途中において、検査担当職員及び発注機関の長が指定する職員による、抜打ち検査を実施する場合においては、これに協力すること。

図面名称

令和5年度 防災・安全・防災

案内図



工事場所: 安曇野市三郷小倉6524-1

工事内容

A 北棟（宴会所棟）切妻屋根南面塗装改修工事

1・仮設工事

- 1) 外部足場 東面全面及び屋根切り替部妻面に設置
くさび緊結式足場（抜け止め機能付型）手すり先行型 幅600型
※東面足場 控え支柱設置・崖部分特殊支持柱設置@360 仮設図参照

安全手すり 足場全面設置 巾木設置共

- 2) 養生シート 最上部手すり部からH1800防煙シート張り
露天風呂側足場エント（小口）部全面防煙シート張り
（足場からの視線防護を徹底すること）

2・塗装工事

- 1) 下地調整 既存がルリウム鋼板屋根の塗膜不良部分のケレン及びサング-掛け RB種
屋根面及び煙突、トプライト周り役物板金共
2) 洗浄 前面高圧水洗浄
3) 塗装 2液形エポキシ系プライマー塗布の上DP1級（フッ樹脂系）2回刈

B シーリング改修工事

- 1) トプライト部 既存シーリング撤去の上新規シーリング充填 シリコン 20x10
2) 下足室屋上 シート防水排水ドレインまわりシーリング打ち直し シリコン 10x10

C 露天風呂オーニング工事

- 1) 外付けロールスクリーン W1.8xL3.0 手動式 2セット （参）ニチエイソコ
ポリエステル生地 UV加工品
付属固定金物共
2) スクリーン受け木 目隠し塀部 檜1等 105x105/2 塀にボルト止め 3ヶ所
スクリーンボトム受け木 檜1等 105x105 着色保護塗料刈
同上木杭 L2.0m 3本地中打込み（深さ600）
受け材 L4.0m 木杭に固定 ボトム受け丸環4ヶ所

D 下足室壁塗装工事

既存珪藻土刈壁（下駄箱上部壁H＝600）下地処理の上、EP塗仕上げとする

工事名

令和5年度 ファインビュー室山 屋根塗装工事

図面名称

案内図・工事内容

SCALE

NON

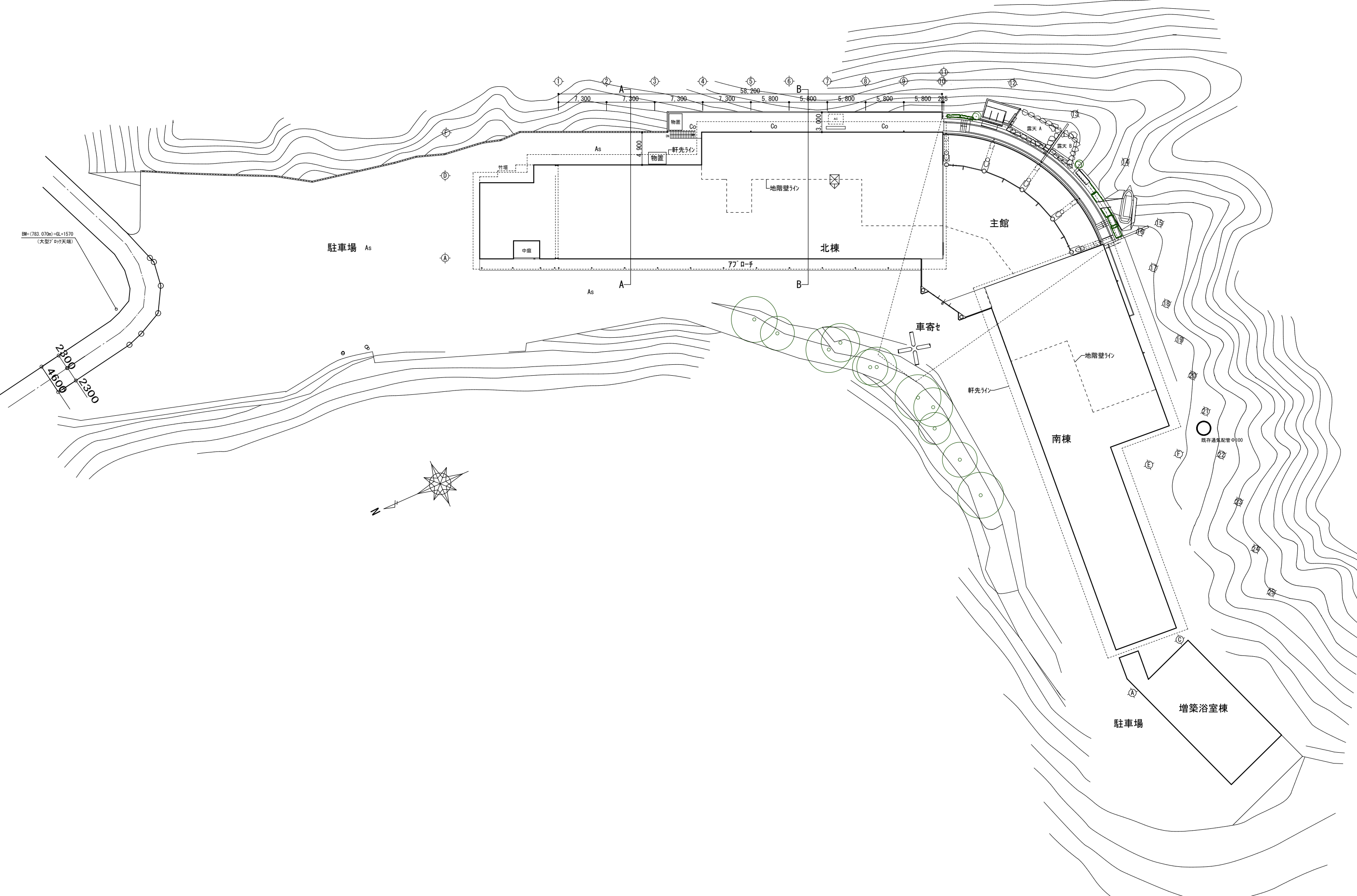
DATE

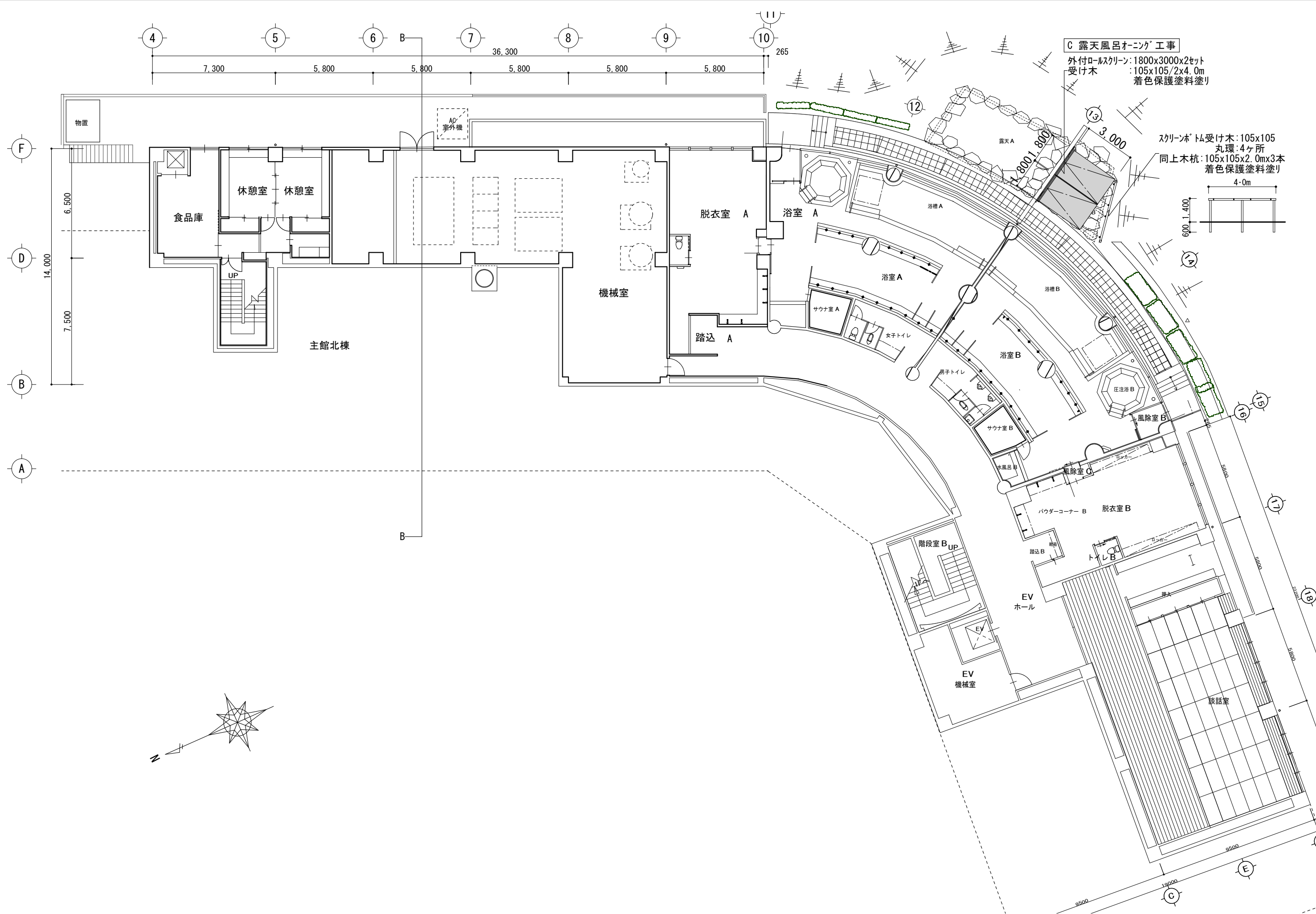
2023.06

担当

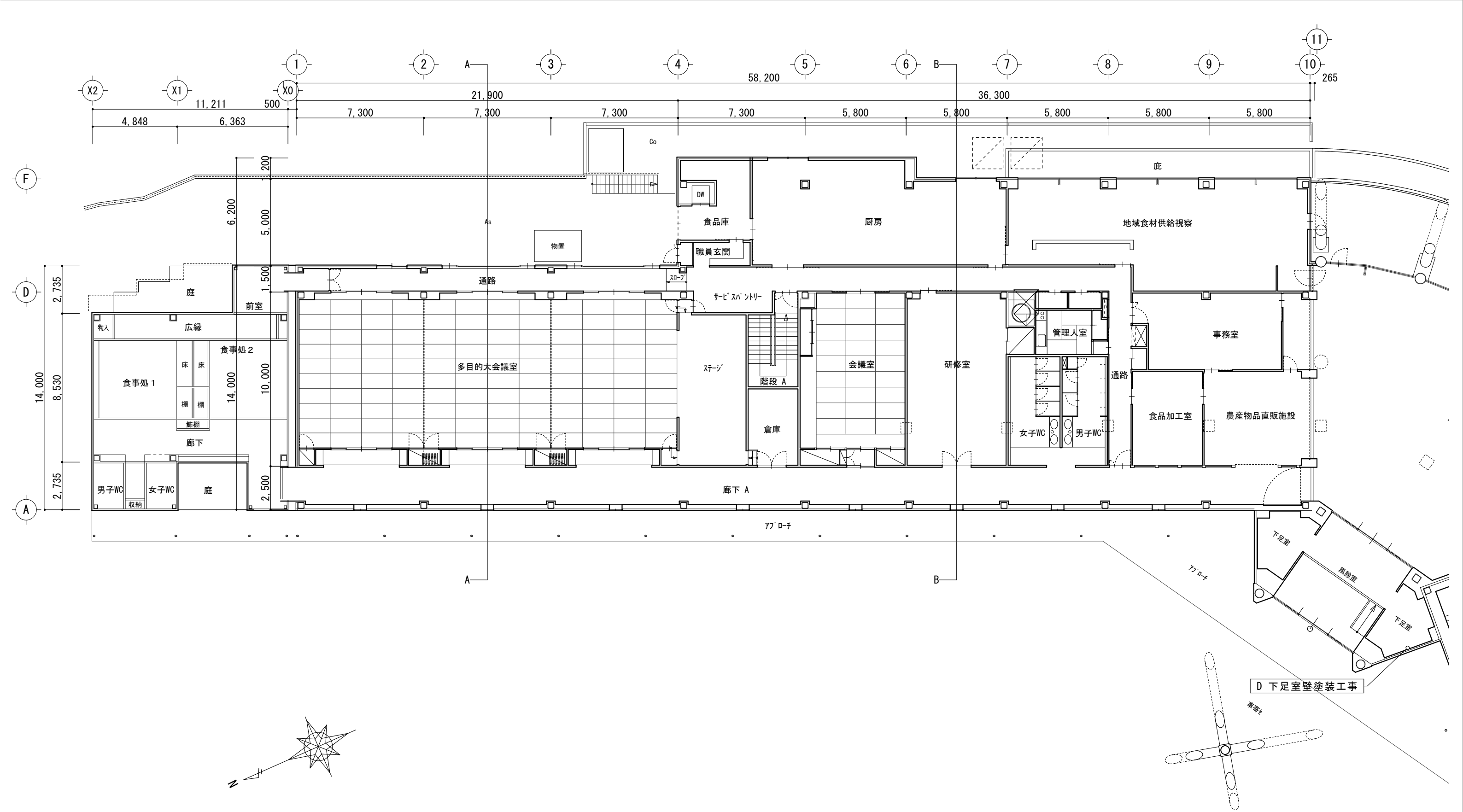
NO

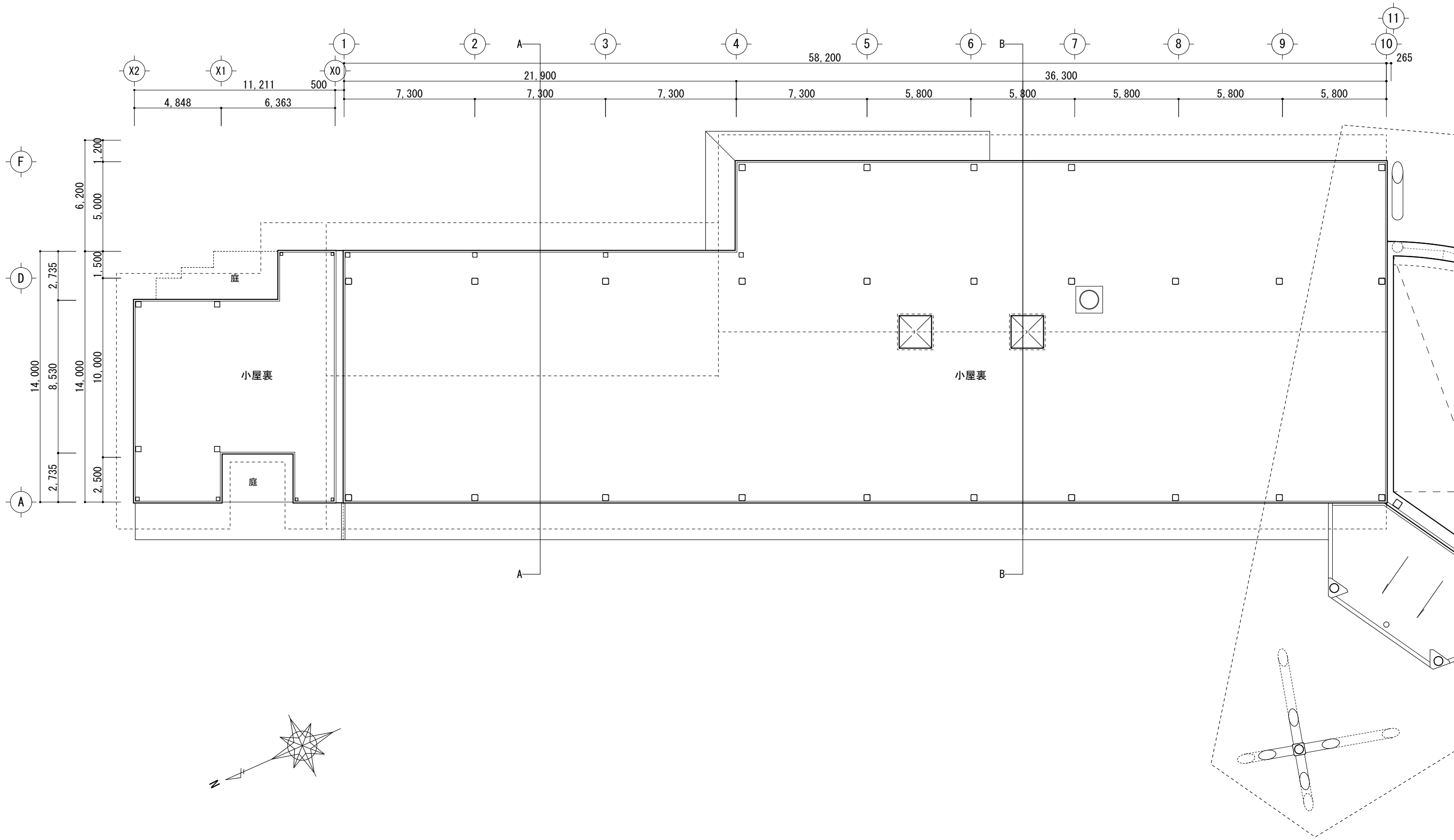
A-05

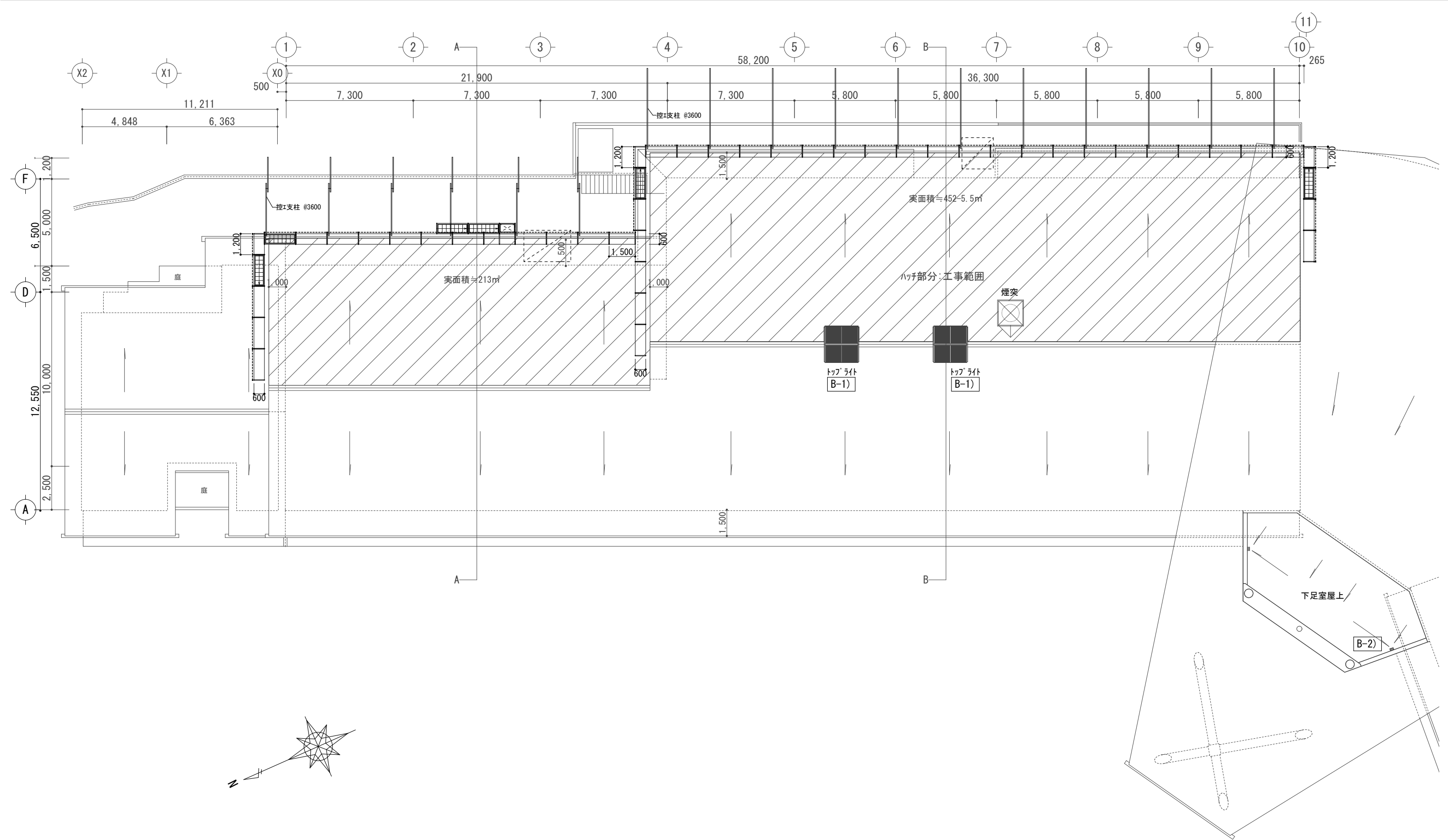


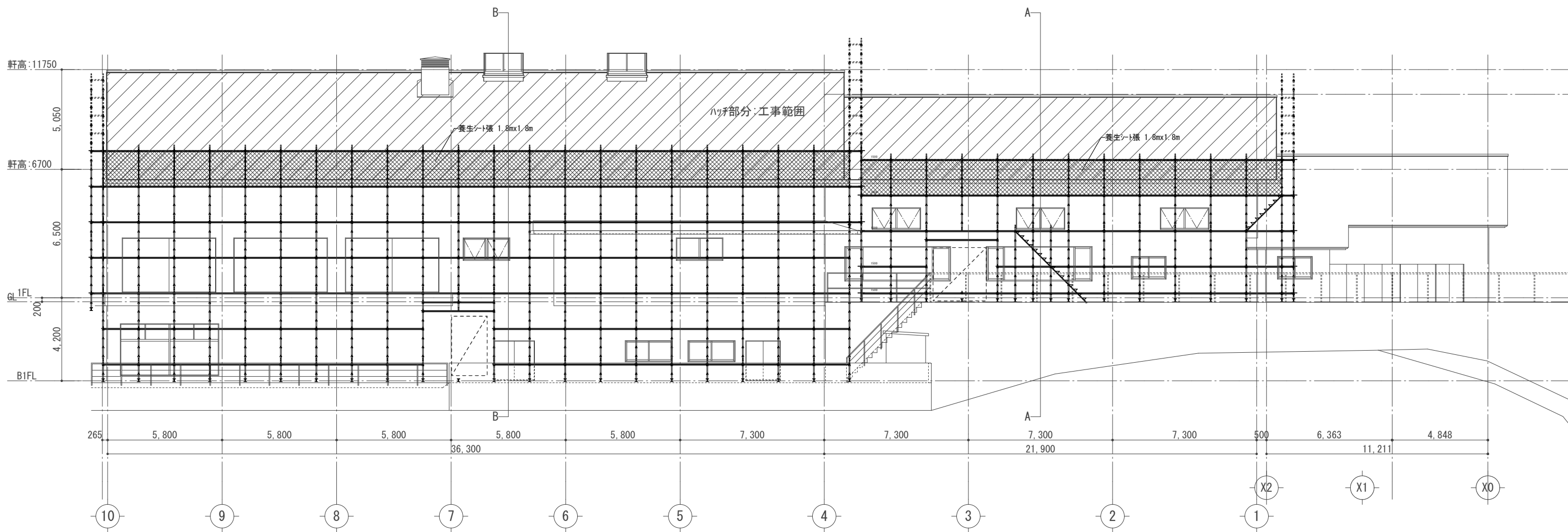


工事名 令和5年度 ファインビュー室山 屋根塗装工事	図面名称 地階平面図	SCALE 1/200	DATE 2023.06	担当			NO A-07
-------------------------------	---------------	----------------	-----------------	----	--	--	------------









工事名
令和5年度 ファインビュー室山 屋根塗装工事

図面名称
立面図・仮設計画図

SCALE
1/200

DATE
2023.06

担当

NO
A-11

